

令和6年
海洋教育「結ぬ海科」カリキュラム
評価



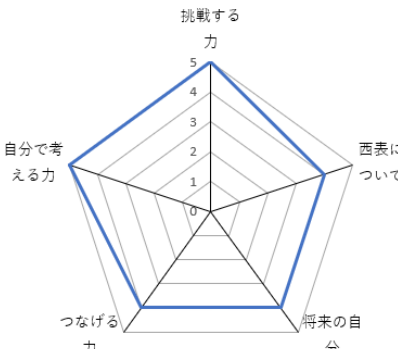
竹富町立 船浦中学校

評価の工夫

「持続可能な社会作りに資する教育活動で重視する能力・態度」がどのように変容しているかを評価するために、「船浦中学校海洋教育ルーブリック」を開発した。

船浦中学校 海洋教育 ルーブリック

3 年	1 番	氏名 ()
-----	-----	--------



○どのような場面で、自分は頑張れたか。

西表島の海の現状を知り、これからどうするかなど課題解決の方法を考えることができた。

○海洋教育でできるようになりたいこと

西表の海を守っていくための課題解決のために自分の日常生活を見直し、自然のためにエコバック、マイ箸、マイボトルを常備しておきたい。

船浦中学校 海洋教育ルーブリック

それぞれの能力・態度には、評価内容が5点記入されており、生徒は当てはまることを自己採点することにより、学期ごとの振り返りを行う。自己評価した数値は、チャートにまとめ、自分が努力したところ、もっと学びたいことを記述するよう指導を行っている。

これらの過程で、生徒は自分の成長や変化を確認し、次の課題へ進むことができるようにする。

 船浦中学校 海洋教育 ルーブリック 			
() 年 氏名 ()			
自分で考える力	1 身近な海を自分の置き、その価値を高めることができる。	西表について	1 西表島に、誇りと愛着を持っている。
	2 なぜ、そのようになっているのか、学習したことや経験を結びつけて、考えることができる。		2 西表島の真実と未来に預けたいものを理解している。
	3 他者の考えから、自分の考えを見直し、広げたりすることができる。		3 西表島の課題について理解している。
	4 課題解決に向けて、1つの方法ではなく、複数の方法を考えることができる。		4 西表島の課題解決の方法を考えることができる。
	5 楽しい未来のために、何をどうするべきか考えることができる。		5 西表島を守っていくための課題解決に向けて行動することができる。
つなげる力	1 友人や地域の方々と学ぶことができる。	将来の自分	1 「総合選択（海洋教育）」で学んだこと、できるようになったことが将来役に立つと思う。
	2 課題解決に向けて、友人や地域の方々と協力しながら積極的に取り組むことができる。		2 多様な認め、助け合うことができる。
	3 課題に取り組む中で、自ら発言したり行動することができる。		3 自分の将来を話し、夢がことや働くことの意義を理解できる。
	4 友人や地域に様々な提案をすることができる。		4 自然や社会、世界のよりよい姿を理解し、その良さを理解している。
	5 よりよい未来のために、日常生活を見直し、積極的に行動することができる。		5 持続可能な社会作りの一員として貢献し、行動することができる。
挑戦する力	1 責任を持って、自分ができることは自分から進んで取り組むことができる。	○どのような場面で、自分はがんばれたか。 ○海洋教育でできるようになりたいこと	
	2 自分の良さを生かして、友人や地域の方々と協力することができる。		
	3 方法を工夫して自分たちの考えを発信することができる。		
	4 自分たちの生活を未来のことを考えて、見直し行動することができる。		
	5 皆で協力すれば大きなことを成し遂げることができる。		

船浦中学校 海洋教育ルーブリック 項目

【生徒のコメント（抜粋）】

事後学習（サンゴモニタリング）

今日、モニタリングをして、2つ気づいたことが
ありました。1つ目は、自分達が調べた場所
に、ウニがいたということです。2つ目は、他の
チームが調べた場所を交流することで、温
度の変化のちがいや、サンゴの垂直方向のちがい
が分かりました。こうやって、今の海のしょうきょう
を知ることで、ちがいも共通点も知ることが
できました。来年は2回目になるので、積極的に
に調べて、未来への参考にしたいです。

西表の海を
知った上で、
次回へのチャ
レンジする力

事後学習（サンゴモニタリング）

もっと各グループで調べる範囲を効率
よく分けて、広い範囲を調べた方がほ
う大抵いいデータがとれるとて良くな
ると思いました。
また、Aグループの左側がサンゴが少
なく、水温が高いのは、波の力でサン
ゴがなくなってしまうと地が見えやす
くなったから、太陽が直接あたった
から水温が上がったと思いました。
もしくは、そこが深くなくて波も強くな
らないし、深くて太陽の光が当たらないので
サンゴが育たなかったのかなと思いました。
もっと、細かなサンゴの種類を調べた方が

疑問を持って
問題を確かめ
新たな考え
次への行動力

事後学習（体験ダイビング）

またこの島に来たいと思、アタラシきためには西表の美しさを保つ。
これ以上島を汚さないようにする。そのために、ビーチクリーン活動
今もアタラシきモニタリングなど、これからも続ける島(海)にアタラシき学び。

西表の海を知った上で、これから考えて行動し、
島の魅力をさらに学び、保ちたい。

事後学習（体験ダイビング）

西表にある 魅力 など（美しい、すい、海など）
知ってもらえ。また、クリートはけしてあげて、今、どんな感じか
起きている。どんな感じが思いこんでいるのか。何となく、何かで
もらえようとして、その経験から、他人には信じさせている。

魅力を、色々な人に発信

事後学習（海と船の教室）

僕が今日の講話を聞いて、思ったことは、身近にある海が自分
たちの生活に大きく恩恵を与えているかということでした。日本は、
海運に支えられている国だということに気付きました。
また、学んだノウハウを活かして、自分の生活を少し便利に
できたらいいなと思いました。そして、今日は初めて船のことにつ
いて知れたこともあったので、本当に良い機会だったと思います。

海と暮らしの関係性を知った上で、
未来を考えて行動したい

事後学習（筏下り）

筏下りを終えて、初めには感じなかった 浦内川 のことについて考えさせられました。
また、筏下りを通じて、チームで協力することについてあらためて学んだ。
そして、西表島の自然を感じ、心を癒やされた。最後に、今回の筏下りに対して
涙の人の支えがあったということを知り、感謝に学校生活に活かしたいと思う。

島の魅力の再確認、人々の支えに感謝

事後学習（筏下り）

〈感想〉

最後の三人行事の筏下りは、西表島の自然の豊かさと、地域の方々の協力に
改めて気づくことができた。だから、今感じたことも島立ちをしても伝え続けたいと思った。

島の魅力に気づき、
自分で説明できるようになりたい

事後学習（マングローブフィールド学習）

渡辺先生の話も聞いて、学んだことはマングローブの種類、
それぞれぜんぜん違う育ち方なんだということだ。
例えば、3種類のマングローブの葉がまた違ったことだ。
葉の裏のゴツゴツ感も違っていたことだ。そして印象に残っ
ています。また、マングローブの高さもそれぞれで、その高さを変える根も
マングローブの高さと同じくらいあるということに私も気づきました。
川の流れるも、止ると、止るところで流れるが変わって不思議
でした。

渡辺先生、今日は、船中泊のためにマングローブ、フィールドワークを開いてくださりありが
たかったです。普段見慣れたマングローブですが、今回体験してみ、マングローブに対する思いも
変わりました。私達、島のマングローブは自然で守られていると思っていました。
また、お急い中本当にありがとうございました。

見て
知って
感動
思いを深め
守りたい

事後学習（ビーチクリーン）

今回のビーチクリーンを通い、前回やるときよりも
ゴミの量減ったと感じました。そのことから、いままで
自分の生活を振り返る必要があると感じました。
島立ちまでの間で、あと何回ビーチクリーンかでは
わかりませんが、今の自分に出来ることは何か、
考えていきたいと思っています。そして、海だけでなく、陸も
きれいに保ちたいと思ったことから、普段から朝のゴミ捨て
や清掃の時間も大切に、目を背けることなく頑張りたいです。

自分たちのく
らしの見直し
未来につなげ
る行動力

海洋教育を通して育まれた資質・能力

海洋教育を通して育まれたこと

好奇心と探究心について



自然の摂理や自然現象についての興味関心、探究心の向上がみられた。

答えのない問いに対して、協働的な学習について



グループで課題に対応することで、自分の意見や考えを安心して出し合うことができ自己有用感の高まりにつながった。

自然事象の道理を考える力、説明する力について



自然について説明することで必要な言葉の学習や、根拠、仮説など自分の考えを深め、表現しようとする力が身に付いた。

地域の一員として



自分たちの海を自分たちの手で守らなければいけない、という海を守るための具体的な行動力、海洋に対する当事者意識の涵養につながった。

表現する、伝える、発信するための ICT活用能力

12/3
町海洋サミットに参加

グループディスカッションを行い、
オンラインで他校との意見交換し、考
えを深めることができた。

海洋に関する学びをまとめる場面において、また他校と交流する機会を通して、ICT活用能力を向上いきたい。

他校との海洋に関する学びを交流する機会を通して自分たちの学びをまとめ、伝える力を身に付けさせたい。